

< 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介していただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生

第28回

サルトリイバラ



サルトリイバラの一種(ユリ科)
中国のサンキライ(山帰来)に近い種
です。

茎には多くの棘を付けていることから「猿取り茨」の名が付けました。葉は楕円形でつやがあり互生です。

初夏、花茎を伸ばして小さな緑色の花を開きます。冬に美しい赤い球形の果実を結びます。

根茎を解毒、消炎、利尿薬として用いられます。昔は梅毒の薬としました。

ターピンによる1700年代末の作
です。